

公認卓球コーチ3
資格概要

2025.04.01

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本卓球協会
養成目的		競技者育成プログラムに基づき、全国レベルの競技者の育成・指導にあたるとともに、コーチ2までの養成講習会の講師等を務めることができる指導者を養成する。
役割		各カテゴリーのトップチームのコーチングスタッフとして、ブロック及び全国大会レベルのプレーヤー・チームに対して競技力向上を目的としたコーチングを行う。
養成講習会に係る内容	受講条件 (公財)日本卓球協会登録会員であり、受講年度の4月1日現在満26歳以上で、次の①～④何れかの条件を満たす者 ①原則として、コーチ2を取得後、3年以上の指導経験を有する者 ②10年以上の指導経験を有し、全国大会出場選手を育成した指導者で都道府県協会(連盟)会長が推薦する者 ③過去5年以内に日本代表として、JTТАが派遣した世界レベルの大会に出場経験がある者 ④日本卓球協会強化本部が推薦する者 (実技科目の免除条件については別途定める)	
	受講科目	共通科目 共通科目Ⅲ(150h)
		専門科目 専門科目コーチ3(60h) ※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目 共通科目Ⅲ:22,000円(税込)／教師:61,600円(税込)※別途リファレンスブック代:3,300円(税込)
		専門科目 受講料:15,400円(税込) ※実施団体が別途定める場合がある。 テキスト代:卓球コーチング教本改訂版 3,080円(税込)
	実施方法	共通科目 別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
専門科目 ■講習会 集合講習40h、その他20hとし、日本卓球協会が実施する。 ※その他(20h)について ①事前・事後学習については、所定のレポートを提出 ②体験実習については、国民スポーツ関係大会(都道府県内の国スポ選手選考会を兼ねた大会、ブロック大会、本大会も可)運営又は見学。体験後、所定のレポートを作成。提出方法は要項参照 ■検定試験 技能検定、レポート、筆記試験を加えた総合判定 ■審査 日本卓球協会指導者養成委員会において審査する。 ■免除要件 免除規程を別に定める。		
登録に係る内容	登録料 (4年間)	基本登録料:10,000円
		資格別登録料:10,000円
		初期登録手数料(初回登録時のみ):3,300円
更新登録要件		(公財)日本卓球協会登録会員であり、資格有効期限の6か月前までに、最低1回は、日本卓球協会が定める研修又は日本スポーツ協会(都道府県スポーツ協会が実施する研修会を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。
特記事項		